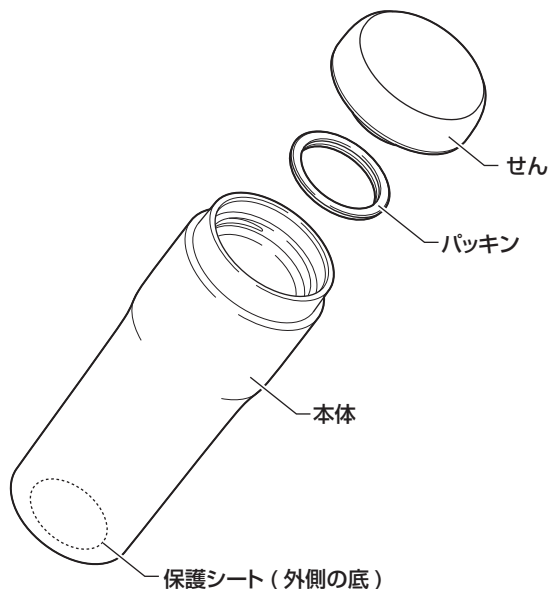


家庭用
ステンレスミニボトル
取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
 ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読み
 ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつ
 でも見られるところに必ず保管してください。


仕様

品番	MJS-E048
実容量	0.48L
保温効力	87 度以上 (1 時間)
	71 度以上 (6 時間)
保冷効力	9 度以下 (6 時間)
外形寸法*	幅7.1×奥行7.1×高さ20.1cm
質量*	0.23kg

* おおよその数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に
 熱湯をせん下端まで満たし、縦置きにした状態
 で湯温が95度±1度のときから1時間及び6時
 間放置した場合におけるその湯の温度です。
 ※保冷効力とは、室温20度±2度において製品
 に冷水をせん下端まで満たし、縦置きにした状
 態で水温が4度±1度のときから6時間放置し
 た場合におけるその水の温度です。
 ※実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際
 に入る容量です。「安全上のご注意」に記載し
 ている「少なめ容量」ではありません。

消耗品・別売品のお買い求めについて

せん・パッキンは消耗品です。(熱や蒸気にふれるためご
 使用にともない傷んでくる場合があります。)1年を目安
 にご確認ください。

汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいづ
 れかでお買い求めの上、交換してください。

- タイガーお客様ご相談窓口(下記「連絡先」参照)
- 消耗品・別売品のご購入サイト

<https://www.tiger-shop.jp/>

消耗品・別売品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

ご購入いただける消耗品・別売品

せん
(パッキンつき) パッキン



タイガーステンレスボトル用洗剤

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品に不具合が生じたときは、P.8をご覧
 になりお調べください。それでも不具合がある場合は、お買い上げのサイト、または「連絡先」に記
 載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

- ①製品名 ②品番(本体底面にシール表示) ③製品の状況(できるだけ詳しく) ④購入日

また、製品に関するご質問などお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先
タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合
 はこちらへ

有料でご案内させていただきます。 **TEL (06) 6906-2121**

- 受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日 (祝日・弊社休業日を除きます。)

消耗品・別売品のご購入サイト

<https://www.tiger-shop.jp/>



※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は
 変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <https://www.tiger.jp/>



© 2003 TIGER CORPORATION

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

ご意見をお寄せください。

<https://www.tiger.jp/>

安全上のご注意


必ずお守りください。


- ◆ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ◆ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。

警告 死亡や重傷を負うことが想定される内容です。


注意 傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の説明

 してはいけない「禁止」内容です。


 実行しなければならない「指示」内容です。


警告


-  乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。やけどやけがなどのおそれ。





注意

-  熱い飲み物を飲むときは、本体を急に傾けないように注意して、ゆっくりと飲む。
必ず実施 急に傾けると、飲み物が急激に出て、やけどなどのおそれ。

-  ドライアイス・炭酸飲料などは絶対入れない。内圧が上がり、せんがあかなかったり、内容物が吹き出たり部品が破損して、けがなどのおそれ。


-  コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。やけど・変形・変色の原因。


-  牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、せんがあかなかったり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。


-  電子レンジで加熱しない。火花が飛んで、けが・故障の原因。

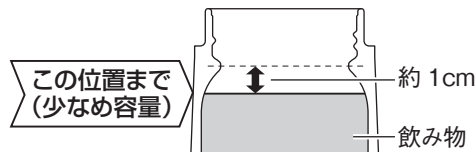
底のシールは、はがさないでください。


注意


-  肩部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。

-  せんは、確実にしまっていることを確認する。内容物がもれて、やけどやものを汚す原因。
必ず実施


-  飲み物の量は、図の位置までにする。入れすぎると、もれたり、あふれたり、やけどのおそれ。
必ず実施





-  傾けた状態や顔などを近づけた状態であけない。熱湯を入れた場合、本体の内圧が上がり、湯が急激に出たり、飛散してやけどなどのおそれ。


-  保温性能が低下したときは使用しない。熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。


-  飲み物の保温・保冷以外に使わない。

-  倒したり、落としたり、ぶつけたりする等の強い衝撃を与えない。破損・保温（保冷）効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。


-  分解・修理はしない。故障や事故の原因。


-  冷凍庫に入れない。内容物がもれたり、破損のおそれ。


-  お茶の葉・果肉などは入れない。もれるおそれ。


-  スポーツ飲料を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因。
必ず実施


⚠ 注意


-  **みそ汁・スープなど塩分を含んだものは入れない。**
腐敗・変質・サビのおそれ。
禁止


-  **かばんや袋に入れたまま放置しない。**
周囲の環境(湿度・塩分)などにより、サビ・においの原因。
禁止


-  **本体外側が濡れている状態で、かばんなどに入れれない。**
サビ・におい・汚れの原因。
禁止

-  **塩素系漂白剤は使わない。**
サビ・塗装はがれ・穴があく原因。タイガーステンレスボトル用洗浄剤(別売品)をおすすめします。
禁止


-  **本体の柄やシールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。**
はがれる原因。
禁止


-  **本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさない。**
はがすと、保温(保冷)効果が低下するおそれ。
禁止

-  **かばんなどに入れるときは、万一のもれを防ぐために、本体を立てて入れる。**
横にするともれるおそれ。
必ず実施

-  **自動車走行中は使わない。**
やけど・車内や衣服を汚す原因。(また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。)
禁止

缶ホルダーを使うとき

-  **缶ホルダーを使うときは、あらかじめ強度を確認してから使う。**
強度が充分でない場合、ホルダーがはずれたり破損して、やけど・車内や衣服を汚す原因。
必ず実施

-  **市販の缶ホルダーは、据え置き型を使う。**
ウインドーやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型で使うと、ホルダーがはずれて、やけど・車内や衣服を汚す原因。
必ず実施

使いかた

First! はじめて使うとき

● お手入れする

材料特有のにおいがする場合があります。
この場合は以下の手順でお手入れしてください。

- ① せんにパッキンがついていることを確認する。
- ② 本体に熱湯を入れ、せんを確実に閉める。
- ③ 本体を持って、内側を十分にすすぐ動作を数回くり返す。
(強い振動は加えない。熱湯が吹き出しやけどのおそれ。)
- ④ お湯をすて、各部のお手入れをする。

1 せんをはずす。

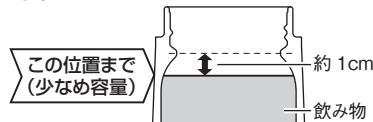
- せんにパッキンがついていることを確認する。

2 保温(保冷)効果を高めたいときは、少量の熱湯(冷水)を入れ、1-2分予熱(予冷)する。

- 予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。

3 熱い(冷たい)飲み物を入れる。

- 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。



4 本体を立てた状態にして、せんをしめる。

- せんがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

使いかた

5

本体を持って、せんをあけて飲む。

6

飲み終わったら、本体を立てた状態にしてせんを確実にしめる。

ご注意

- かばんなどに入れるときは、万一のもれを防ぐために、本体を立てて入れる。横にすると、もれるおそれ。
- なるべく直射日光にあてない。変色のおそれ。

本体を振ると「カシャカシャ」と音がする。

保温（保冷）効力を高めるために、本体内部に入れている金属箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。

お手入れのしかた

- ◆ 使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆ 洗剤は、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使う。
- ◆ スポンジ・布はやわらかいものを使う。
- ◆ においを防ぐために、こまめにお手入れする。

- ① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。
- ② 乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。

ご注意

- 本体およびせんは、つけおき洗いをしない。（せんの中に水が入るおそれ。）
- 本体を丸洗った後は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。ふき取らないと「水滴」の跡が残ったり、サビ・他のものを汚す原因。
- シンナー類・クレンザー・塩素系漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。（パッキンをのぞく）
- せん・パッキンは必ず取りつける。
- 長期間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させる。

本体内側に汚れが目立ってきたときは…

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」の場合

汚れは水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）によるものです。これらの汚れには、スーパーや薬局で販売されているクエン酸のご使用をお勧めします。

- ① クエン酸（約 10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ② 2 ～ 3 時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

「茶しぶ」や「コーヒー」の汚れなどの場合

汚れは飲み物などに含まれているタンニンや油脂成分によるものです。タイガーステンレスボトル用洗浄剤（別売品）のご使用をお勧めします。お買い求めは、「消耗品・別売品のお買い求めについて」を参照してください。

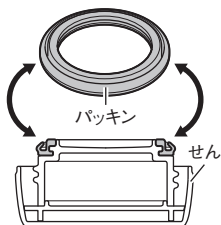
お手入れのしかた

パッキンのはずしかた・つけかた

はずすときは、パッキンのふちをつまみながらゆっくりはずす。

つけるときは、パッキンの凹部をせんの凸部にきっちりはめ込む。

パッキンがはまっていないと、内容物がもれるおそれ。



パッキンにおいがついたとき

内容物によっては、そのにおいがパッキンに付着することがあります。その場合、パッキンを30分程度煮沸すると、においが少なくなります。それでも気になる場合は別売りのパッキンをお買い求めください。

不具合が生じたときは

こんなとき

飲み物がもれる。

▶ せんやパッキンが確実にセットされていますか。

▶ せんやパッキンが損傷していませんか。

▶ 飲み物を入れすぎていませんか。

▶ 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸したり、熱湯を使っていませんか。(パッキンをのぞく) ▶ P.6

▶ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。▶ P.2

保温(保冷)が効いていない。

▶ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。▶ P.2

▶ お手入れの際、本体の内側を強く押ししたり、金属たわし等を使用していませんか。▶ P.6

▶ 飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。

▶ 寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。

本体内側やせんから異臭がする。

▶ はじめて使うときは、材料特有のにおいがする場合があります。

▶ 汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしていませんか。

▶ 水道水に含まれるカルキ臭が残る場合があります。

▶ 確実にセットする。▶ P.7

▶ 損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。▶ 裏表紙

▶ 入れすぎないようにする。▶ P.2・4

▶ 「はじめて使うとき」を参照してお手入れする。▶ P.4

▶ お手入れする。▶ P.6~7

本体を振ると「カチャカチャ」と音がする。

▶ 保温(保冷)効力を高めるために、本体内部に入れている金属箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。

About replace and purchase for consumable parts

The gasket and stopper are consumable parts.
Please check whether there are damages/deteriorations or not once a year.
If these parts are heavily stained or loosed, please purchase them on our parts shop, and then replace them.

•Parts shop
<https://www.tiger-shop.jp/>

About inquiries

We extremely care about the quality of this product.
However, should the product be defective, please check the following information and contact the web site where you purchased this product.

1. Product name
2. Model Number (bottom of the product)
3. Description of problem (as detailed as possible)
4. Purchase date

Please feel free to send any questions or comments about this product to the web site where you purchased it.

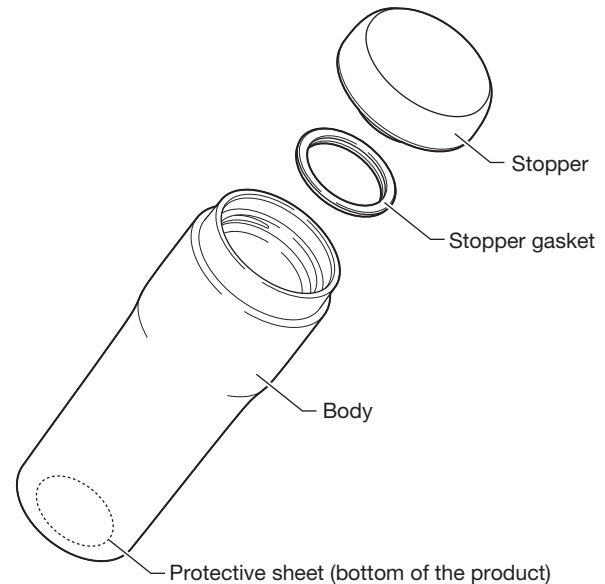
※ For the purpose of performance improvement, designs, specifications and parts shown in this publication are subject to change without notice.

For household use

Stainless Steel Mug

Instructions

Thank you for purchasing a “TIGER” Stainless Steel Mug.
Please read the instructions completely before use.
Keep these instructions for future reference.



Safety Precautions

Be sure to follow all instructions.

- ◆ All safety instructions described below are intended to protect the user and other individuals from physical harm and household damage.
- ◆ Safety instructions are classified and described according to the level of harm and damage caused by improper use, as shown below.



This symbol indicates there is a possibility of death or serious injury.



This symbol indicates there is a possibility of injury or damage to property.

Description of Symbols



This symbol indicates a prohibited action.



This symbol indicates an action that must be taken or an instruction that must be followed.

Warning



Keep out of reach of children. Do not let children play with the product.

There is a risk of burns or injuries.



Caution



Drink slowly and do not tilt the product abruptly when the product contains a hot beverage.

Do not tilt the product abruptly. This may cause the contents to burst out, potentially causing burns.



Do not put dry ice or carbonated beverages in the product.

The air pressure inside the product may increase, causing the stopper to become stuck or prone to shattering, or the parts to be damaged.



Do not place the product near stoves, open flames, or other sources of extreme heat.

There is a risk of burns or deformation or discoloring of the product.



Do not store milk, dairy products, or certain fruit juices in the product.

The contents may decay or spoil. Long-time spoilage can create gases that raise the air pressure inside the product due to decay or spoil, causing the stopper to become stuck or prone to shattering, or the parts to be damaged.



Do not heat the product in a microwave oven.

There is a risk of injury or failure due to sparks.



Caution



Do not touch the brim of the product with a kettle spout.

The product may fall over, causing burns or injuries to the skin, or a scratch or deformation to the product.



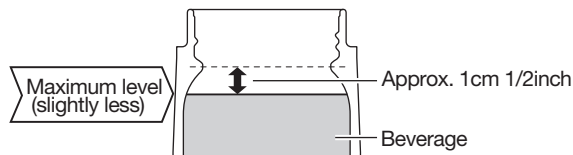
Be sure to set the stopper in proper position.

Contents may leak and cause soiling or skin burns.



Do not fill the product above the maximum level shown below.

If the contents exceed the specified line, they may leak or overflow, potentially causing burns.



Do not open the lid when the product is tilted or placed near the face.

Pouring hot water into the product increases the internal air pressure. This may cause the contents to burst out and scatter, potentially causing burns.



Do not use the product if its ability to retain heat declines.

Hot beverages can make the product very hot, potentially causing burns.



Do not use the product for any purpose other than keeping beverages warm or cold for drinking.



Do not knock over, drop or expose the product to excessive shocks.

There is a risk of damage to the product, a reduction of its heat- or cold-retention ability, rusting, flaking of the exterior paint, or leakage of contents.



Do not disassemble or attempt to repair the product by yourself.

There is a risk of failure or accident.



Do not put the product in a freezer.

Contents may leak or the product may be damaged.



Do not store tea leaves or peeled fruit.



The contents may leak.

Do not remove the sticker on the bottom of the product.

Caution

-  **Be sure to clean the product immediately after use, especially after consuming sports drinks.**
Rinse the inside of the product well, even if you are going out, for example, and don't have time to wash it thoroughly. Mold, rust, or holes may appear.
-  **Do not store soups or beverages containing salt in the product.**
The product may become decayed, spoiled, or rusted.
-  **Do not leave the product in a bag for a long time.**
The storage conditions may change and there is a risk of rust or odors.
-  **Do not place the product in a bag if its exterior is wet.**
There is a risk of rust, odor, or soiling.
-  **Do not use chlorine-based bleaches.**
This may cause rusting, flaking of the exterior paint, or a hole on the product.
-  **Do not scrape or rub the patterns or stickers on the surface of the product using your nails or a hard object.**
The exterior paint may come off.
-  **Do not remove the protective sheet on the underside of the product.**
Removing this may reduce the product's heat- or cold-retention ability.
-  **Keep the product in an upright position at all times in your bag to avoid leakage.**
Contents may leak if the product is laid horizontally.
-  **Do not use the product in a moving vehicle.**
This may result in burns or soiling of clothes or of the interior of the vehicle. (Using the product while you are driving is very dangerous, as you may be distracted.)

For can holder

-  **Before using the can holder, check its intensity.**
If the holder is not strong enough, it may come off and get damaged. This may result in burns or soiling of clothes or of the interior of the vehicle.
-  **When using a commercially available can holder, use the stationary type.**
If the suspension holder that is attached to the window or air conditioning outlet is used, it may come off. This may result in burns or soiling of clothes or of the interior of the vehicle.

3

How to Use

Before the first use

● Cleaning

You may notice an unusual odor coming from the material of the product. In this case, clean the product by following the steps below.

- (1) Check the gaskets are attached to the stopper.
- (2) Pour hot water into the body and securely close the stopper.
- (3) Hold the body and gently shake it several times to rinse the inside thoroughly.
(Do not shake it excessively. The hot water may splash out, potentially causing burns.)
- (4) Discard the hot water, and then clean each part.

1

Turn the stopper to remove it.

- Check that the stopper gasket is attached to the stopper.

2

To keep your beverage warm/cool longer, first pour a small amount of hot/cold water into the main body and let it sit for one or two minutes.

- Discard the hot/cold water after preheating/precooling.

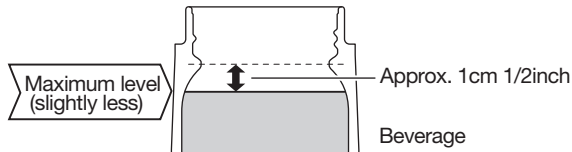
4

How to Use

3

Pour your hot/cold beverage into the main body.

- Pour appropriate amount of beverages.
- Do not insert large cubes of ice. Use small cubes or crushed ice.



4

Place the main body in an upright position and turn the stopper to close it.

- Turn the stopper as far as it will go to securely close it.

5

Hold the main body and open the stopper to drink your beverage.

6

After drinking the beverage, keep the product in an upright position and securely close the stopper.

Caution

- If you place the product in a bag, make sure it is upright to prevent any accidental leakage. The product may leak if you place it on its side.
- Do not leave the product in an area exposed to direct sunlight. This may cause discoloration of the product.

The product rattles when shaken.

This is caused by a metal sheet moving inside the product that is used for boosting heat retention.

How to Clean

- ◆ Clean the product on the same day after every use.
- ◆ Use mild kitchen detergent (for table or cookware).
- ◆ Use a soft sponge or cloth.
- ◆ Clean the product thoroughly to prevent any odor.

- (1) Wash each part using a sponge with diluted detergent water or lukewarm water, and then thoroughly rinse it with water.
- (2) Wipe the water off with a dry cloth and dry the parts thoroughly.

Caution

- Do not soak the main body and stopper when washing them. (Water may enter the stopper.)
- After washing the whole main body, immediately use a dry cloth to wipe off the moisture on its outer surface. Not wiping off all droplets could leave water stains or cause rust and other marks.
- Do not use thinners, cleansers, bleaches, cleaning wipes, metallic scrubbing brushes, or nylon scrubbing brushes.
- Do not use a dishwasher or dish dryer, and do not wash with boiling water. (Except gasket)
- Be sure to attach the stopper and stopper gasket.
- Dry the product completely after removing stains when not in use for a long time.

If marks start to become visible on the inside of the main body

For red, rust-like spots or rough areas

Such staining can be caused by minerals in water, such as calcium, magnesium, and iron. It is recommended to clean them with citric acid, which is available at supermarkets and drug stores.

- (1) Dilute the citric acid (approximately 10 g) in lukewarm water, and then pour it into the main body.
- (2) After a few hours have elapsed, wash the main body with a soft brush and then thoroughly rinse it.
- (3) Dry the main body completely.

Note: Do not use detergents for other brands' pots or insulated bottles. The gasket may be broken.

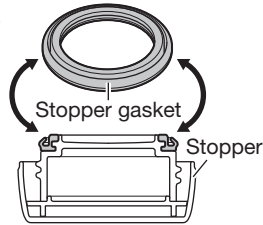
How to Clean

Attaching and Removing the gasket

Remove the stopper gasket slowly while holding its edge.

When attaching the gasket, make sure the groove in the gasket fits securely around the ridge on the stopper.

Contents may leak if the gasket is improperly attached.



If an odor remains on the gasket

Depending on the contents, the odor may remain on the gasket. In this case, leave the gasket in boiling water for approximately 30 minutes to reduce the odor. If the odor is still noticeable, purchase a new gasket (sold as an optional part).

Specifications

Model No.	MJS-E048
Capacity	0.48 L / 16.2 oz
Heat retention	Greater than 87°C • 188°F (1 hour) Greater than 71°C • 159°F (6 hours)
Cold retention	Less than 9°C • 48°F (6 hours)
Size *	W 7.1 x D 7.1 x H 20.1 cm W 2.8 x D 2.8 x H 7.9 inch
Weight *	0.23kg / 0.51 lbs

*Approximate value

- ※ Heat retention has been calculated under the condition of adding hot water at 95°C ±1°C • 203°F±2°F and leaving it in a room temperature of 20°C±2°C • 68°F±4°F for 1 hour or 6 hours.
- ※ Cold retention has been calculated under the condition of adding cold water at 4°C ±1°C • 39°F±2°F and leaving it in a room temperature of 20°C±2°C • 68°F±4°F for 6 hours.
- ※ Capacity is the actual volume of water that can be stored in the product when the stopper is closed. This is not the “Maximum level” volume described in “Safety Precautions”.